

福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
福井の伝統的民家の保存および活用を推進し、市町が実施する伝統的民家や蔵などが集積する街並み景観の保全・活用に資する事業を支援することにより集落景観のレベルアップを図り、地域の個性に合った街並みづくりを推進する。												
[事業内容]												
(1) 伝統的民家群保存活用推進地区（以下、推進地区）内での景観づくりに対する補助 ①伝統的民家や土蔵、門、塀の改修 外観の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内（限度額1,500千円） ②伝統的民家の新築 外観の工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内（限度額800千円） ③一般建造物の修景 外観を街並みに調和させる工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内（限度額1,000千円） ④伝統的民家の空き家の活用 外観及び内部の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内（限度額3,000千円） ⑤景観づくり活動 街並みを活かした景観保全・景観づくり活動に補助する市町に対し市町補助額の10/10（限度額200千円 地区指定後2年間のみ） (2) 福井の伝統的民家の保全に対する支援（推進地区外） 推進地区外の伝統的民家及び付属する土蔵、門、塀の改修 外観の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/6以内（限度額1,000千円） (3) ふくい棟梁講座（伝統工法の実技実習および講習）の支援（（一社）福井県建築組合連合会）（限度額500千円） (4) 福井の伝統的民家改修・保全マニュアルおよび福井の伝統的民家普及PRリーフレット												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		44,158	45,447	43,681	40,987	39,253	39,253	39,253				
2月現計予算額の推移		34,509	45,447	28,801	22,537							
決算額の推移		34,417	44,476	27,183								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	改修等事業件数	(目標)	(30件)	(28件)	(31件)	(35件)	(35件)	(35件)	(35件)	改修等35件/年		
		実績	31件	52件	22件							
活動指標	推進地区指定数	(目標)	(6件)	(6件)	(6件)	(4件)	(2件)	(2件)	(2件)	H30末累計 伝民地区35地区（政策合意） H27末までに29地区指定済		
		実績	6件	6件	6件	5件						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、市町				
予算額	39,253				39,253	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		1/2				

事業評価

事業名	福井の伝統的民家活用推進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>地域の歴史・文化に培われてきた伝統的民家等が形成する景観は、県民共有の財産であり、個性的な地域づくりのための貴重な資源である。これらの建物が取壊されることで地域の個性が失われることを防ぐために、伝統的民家等の保存・継承を支援することが必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
伝統的民家所有者等				約5,400棟（県内の伝統的民家数）				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の歴史的建造物保存促進事業 他 (役割分担) ・ 福井の歴史的建造物保存促進事業 福井の歴史的建造物の改修等の対する支援 ・ 重要伝統的建造物群保存地区整備事業 重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・ 指定文化財保存修理等補助金 指定文化財の修理に対する支援			市町との連携状況	・ 市町が改修等を希望する所有者から申請受理 ・ 県は、伝統的民家の改修等を支援する市町に対し補助を実施			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・ 伝統的民家の改修等を26件支援（H27） ・ 伝統的民家保存活用推進地区を5件指定（H27）		・ 予算計上額を実績に合わせて見直し			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,734
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H17 年度	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		12 年			
[事業目的]												
市町が実施する歴史的建造物の改修補助事業に対し支援を行い、歴史的建造物の保存およびまちづくりへの活用を促進する。												
[事業内容]												
歴史的建造物の外観及び構造体の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内（補助限度額1,500千円）を補助												
【福井の歴史的建造物とは】 （平成16年度に1,915件の建造物を調査し、内485件を「福井の歴史的建造物」として紹介） 原則として第二次世界大戦終結時までに建造され、下記の①～④のいずれかに該当するもので、県が歴史的建造物等活用推進会議の意見を踏まえ、ふるさとの象徴として保存継承していく価値があると認める建造物。ただし、指定文化財を除く。 ①地域の歴史を象徴するもの ②建築文化や生活文化を継承するもの ③民俗学的に価値のあるもの ④街なみおよび景観の整備に貢献するもの												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		3,128	3,128	3,064	3,064	3,058	3,058	3,058				
2月現計予算額の推移		2,228	3,128	1,958	2,542							
決算額の推移		2,205	2,878	1,947								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	改修事業件数	(目標) 2件	(2件)	(2件)	(2件)	(2件)	(2件)	(2件)	改修2件/年			
		実績 2件	2件	2件	3件							
活動指標	補助事業者数	(目標) 2件	(2件)	(2件)	(2件)	(2件)	(2件)	(2件)	改修2市町/年			
		実績 2件	1件	2件	2件							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、市町					
予算額	3,058				3,058	事業実施方法	直営、補助					
						補助率	1/2					

事業評価

事業名	福井の歴史的建造物保存促進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
[事業の必要性・要求の背景]								
地域の資源である歴史的建造物を保存・継承し、個性豊かで魅力ある地域社会づくりを進めていくために、歴史的建造物の保存改修事業に対して支援を行うことが必要である。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
歴史的建造物所有者（管理者）				485棟（福井の歴史的建造物）				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の伝統的民家活用推進事業 他 （役割分担） ・福井の伝統的民家活用推進事業 福井の伝統的民家の改修等及び景観づくり活動に対する支援 ・重要伝統的建造物群保存地区整備事業 重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・指定文化財保存修理等補助金 指定文化財の修理に対する支援			市町との連携状況	・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、伝統的民家の改修等を支援する市町に対し補助を実施			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・敦賀市、越前市の歴史的建造物3件の改修に対し支援（H27）					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
<p>福井の美しい景観を守り伝えていくために、「福井ふるさと百景」を活用し、地域団体が進める景観づくり活動を支援するとともに、市町と協力してビューポイント整備を促進するなど、地域とともに景観づくりを推進する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 景観づくり活動団体に対する補助 ・百景選定地におけるふるさと景観を守り育てていく景観づくり活動団体を支援する市町に対し補助 ・景観づくりのコーディネート業務等を実践でき、広域的に活動する景観づくり団体に対し補助 【補助率】10/10（補助上限額 200千円/年） 【事業期間】2年間 【補助対象】地域団体：15団体（町並みを活かした花植えや夜間景観の演出などの景観づくり活動） 広域団体：2団体（歴史的建造物等を活用したまち歩きや、沿道の植栽のワークショップ等の活動）</p> <p>(2) ビューポイント整備を実施する市町に対する補助 ・百景選定地の絶景ポイントや町並みなどを眺望できるビューポイント整備を行う市町に対し補助 【補助率】1/2（補助上限額 1,000千円/箇所） 【補助対象】市町</p> <p>(3) ふるさと景観の保全意識の普及・啓発の強化 ・県、市町職員や県民を対象に、ふるさと景観の保全や景観アセスメントを題材として、景観づくりの進め方を学習する景観セミナーを開催</p> <p>(4) ふるさと福井景観づくり懇談会の開催 ・学識経験者、県民代表等で組織する「ふるさと福井景観づくり懇談会」を開催</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		5,432	10,099	9,647	9,483	5,191	5,191	5,191				
2月現計予算額の推移		5,735	8,899	8,647	7,883							
決算額の推移		4,575	6,696	7,064								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新たな景観づくり活動に取り組む団体数（累計）	(7)	(8)	(9)	(6)	(5)	(4)	(4)	H30末累計 百景活動団体認定50団体（政策合意） H27末までに37団体認定済			
		7	8	10	6							
活動指標	ビューポイント整備箇所数		(5)	(5)	(4)	(2)	(2)	(2)	ビューポイント整備2件/年			
			5	6	4							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、市町、景観づくり活動団体				
予算額	5,191				5,191	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		(1) 10/10、(2) 1/2				

事業評価

事業名	福井ふるさと百景活用推進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>多様で豊かな自然、歴史、伝統に培われた町並みなど、美しく魅力的な景観を保全していくためには、県民一人ひとりがふるさとに誇りと愛着を持つことが重要である。そのため、「福井ふるさと百景」として積極的に情報発信を行っていくとともに、景観づくり活動を実施する団体を支援するなどして、地域の力で県民共有の財産である景観を守り育てていくことが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	<input type="radio"/> 普及・啓発 石川県・・・いしかわ景観大賞、俳句大会、景観教室、絵画コンクール、白山眺望スポットガイド作成、いしかわ景観づくりガイドブック作成 富山県・・・景観づくりフォーラムの開催、うるおい環境とやま賞、「ふるさと眺望点」の指定 <input type="radio"/> 審査会等 石川県、富山県・・・景観審議会を設置			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと広域景観形成事業（新規） (役割分担) ・福井ふるさと広域景観形成事業 県の景観形成の方針を立て、市町や景観づくり団体等と連携して、広域的なふるさと景観の重点的な整備を実施			市町との連携状況	・活動団体は市町に申請を行い、県は市町を通して補助を実施 ・ビューポイント整備は市町が実施		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・景観づくり団体を新たに6団体認定 (H27) ・ビューポイントを新たに4箇所整備 (H27)		・百景ビューポイント整備の予算計上額をこれまでの実績に合わせて見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 4,292
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井ふるさと広域景観形成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口 浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金	経過年数	1 年		
[事業目的]												
<p>ふるさと福井の多様で豊かな自然、歴史や文化を背景とした魅力ある「福井ふるさと百景」をストーリーでつなげ、県、市町、景観づくり団体等が連携し、重要文化的景観の選定に向け必要な調査を実施するなど、広域的な景観形成を推進する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 先行実施エリアにおける実施計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観資源、眺望ポイント、景観阻害要因の把握等、良好な景観形成に必要な具体的施策を作成 ・ 重要文化的景観の選定に向けた事前調査を実施 <p>(2) 全県的な景観形成方針（景観ガイドライン）策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観基礎調査（県全域の景観資源や景観阻害要因、視点場の抽出）を実施し、全県的な景観形成方針である景観ガイドラインを策定 												
【平成29年度～】												
<p>(1) 先行実施エリアにおいて具体的施策を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要文化的景観の選定に向けた保存調査（国庫補助）やビューポイント整備、植樹等の実施 <p>(2) 上記以外の広域エリアごとに実施計画を策定し、広域景観形成を推進</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						9,800						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	先行実施エリアの実施計画策定件数					(2)			越前海岸の水仙畑など2エリアで実施計画を策定			
活動指標	景観ガイドラインの策定件数					(1)			平成28年度に全県的な景観ガイドラインを策定			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	9,800				9,800	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	福井ふるさと広域景観形成事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口 浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>福井の魅力ある景観をさらにレベルアップさせ、強く発信していくためには、これまでの点での整備・支援に加え、「福井ふるさと百景」を中心とした景観をストーリーでつなげ、市町を超えた広域的な景観の形成を図っていくことが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県・・・「新静岡県景観形成ガイドプラン」 9エリアの広域景観を設定、順次景観協議会を設立し、行動計画を作成、景観施策を実施 ・石川県・・・「いしかわ景観総合計画および眺望計画」 白山の眺望景観の保全 (建築物・工作物の高さ制限、色彩およびデザインの制限) 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <div style="margin-left: 20px;">事業名</div> (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <div style="margin-left: 20px;">事業名 福井ふるさと百景活用推進事業</div> (役割分担) ・福井ふるさと百景活用推進事業 福井ふるさと百景選定地の景観を地域の力で守り育てていく景観づくり活動団体等を支援	市町との連携状況	・市町と協議を行いながら全県的な景観形成方針（景観ガイドライン）を策定				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

芸術団体文化活動活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課		課長名	阪口浩実
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S47 年度 経過年数 45 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
<p>芸術文化活動団体を育成し芸術文化の振興を図るとともに、各文化団体が実践する地域文化活動普及に資する取組みを支援することにより、地域文化の掘り起こしや新たな文化創造を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(一社) 福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業費に対し補助 (1) 補助対象者 (一社) 福井県文化協議会 (2) 補助対象事業 基本事業および奨励事業を併せて実施する事業 ①基本事業 営利を目的とせず、全県的な視野に立ち、定期的または継続的に行われる、美術、舞踊、演劇、文学等の大会、展示会、コンクール開催、出版事業等 ②奨励事業 県民文化の保存継承、相互交流、文化創造を目的とし、広く県民が参加できるように行われる、体験教室、鑑賞教室、講習会等 (3) 補助率 定額</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600				
2月現計予算額の推移		3,600	3,600	3,600	3,600							
決算額の推移		3,600	3,600	3,600								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	奨励事業の実施件数	(目標) (70) 実績 70	(70) 70	(62) 62	(64) 62	(64) 62	(64) 62	(64) 62	全ての補助対象団体で奨励事業を実施			
	活動指標	補助対象事業数	(目標) (70) 実績 70	(70) 70	(62) 62	(64) 62	(64) 62	(64) 62				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		(一社) 福井県文化協議会				
予算額	3,600				3,600	事業実施方法		補助				
						補助率		定額				

事業評価

事業名	芸術団体文化活動活性化事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県民一人ひとりが文化活動に積極的に参加できる環境を整備し、芸術文化に親しむ機会を拡充するためには、地域の文化団体の活動を活性化することが不可欠である。県文化協議会に対し補助することで、県内の幅広い芸術文化団体の活動を最も効果的に支援することができ、活性化が図られる。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
他県の状況	<p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動支援事業（いしかわ県民文化振興基金文化活動団体への助成） <p>【富山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県芸術文化振興基金事業文化活動団体への助成 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術文化活動推進事業、ふくい県民総合文化祭開催事業 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動推進事業 県内の芸術団体の実施する次世代育成などに寄与する文化活動への補助 ・ふくい県民総合文化祭開催事業 県域で活動する団体の発表等の事業への補助 	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・62団体に対し補助（H26） ・全ての団体で奨励事業を実施（H26） 					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

芸術文化活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン	[]		事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H7 年度 経過年数 22 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		[]										
[事業目的]												
県内の芸術文化活動団体等が独自に企画運営する創造的または文化的な活動を支援するとともに、ふくいの芸術文化の担い手を育成し、本県の芸術文化の振興を図る。												
[事業内容]												
文化芸術の振興に寄与する事業や活動に要する事業費に対し補助 (1) 補助対象者 県内を活動の本拠地として各地で活動する団体 (2) 補助対象事業 ①地域文化創造支援事業・・・地域文化資源を活かしてふくい文化を創造する新たなまちづくりを支援（補助上限 800千円/団体） ②ふくいの文化発信・交流支援事業 ア 国内外の芸術文化活動団体等との交流促進・・・全国または世界にアピールできる芸術文化事業を支援（補助上限 全国的:500千円/団体 国際的:800千円/団体） イ 全国へのふくいの文化発信・・・国民文化祭への参加を支援（補助上限 150千円/団体（交通費 7千円/人）） ウ 全国的な芸術文化活動・・・全国レベルの美術展（日展、院展）など公益性の高い文化事業の誘致を支援（補助上限 4,000千円/団体） ③次世代育成活動支援事業・・・次世代の文化・芸術活動を担うリーダーの育成につながる事業を支援（補助上限 300千円/団体） (3) 補助率 ①、②ア、イ、③ : 1/2 ②ウ : 1/10												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		14,878	10,995	10,495	9,855	8,300	8,300	8,300	風花随筆文学賞支援事業を教育庁に移管（H28）			
2月現計予算額の推移		14,183	10,600	9,495	9,240							
決算額の推移		13,681	9,504	8,624								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	芸術文化活動に参加した子どもの数	(目標)							子どもの参加数は採択される事業内容によって変わるため、目標値を設定することは困難			
		実績	9,121	12,111	18,191							
活動指標	事業採択数	(目標)							募集にあたっては広く募集し、掘り起しに努めるが、応募団体の事業内容を審査した上で採択するため、目標値を設定することは困難			
		実績	28	30	23	23						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県内芸術文化活動団体				
予算額	8,300				8,300	事業実施方法		補助				
						補助率		1/2、1/10				

事業評価

事業名	芸術文化活動推進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実																				
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>新たな地域文化の創造発展、国内外の文化交流による相互理解、文化継承や担い手育成を図るためには、県民の優れた地域文化活動を支援していくことが必要である。</p>																											
<p>[受益者]</p> <p>芸術文化活動団体および地域住民</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>約68,000人（26年度実績、観覧者含む）</p>																							
他県の状況	<p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動支援事業（いしかわ県民文化振興基金文化活動団体への助成） <p>【富山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県芸術文化振興基金事業文化活動団体への助成 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）																								
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業、ふくい県民総合文化祭開催事業 （役割分担） <ul style="list-style-type: none"> ・芸術団体文化活動活性化事業（一社）福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助 ・ふくい県民総合文化祭開催事業 県域で活動する団体の発表等の事業への補助 	市町との連携状況																									
<p>[事業の評価]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">前年度の実績</th> <th style="width: 30%;">実績を踏まえた28年度の変更点</th> <th colspan="4">事業評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・23団体の事業を採択（H27） ・補助事業に18,191人の子どもが参加（H26） </td> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 拡充</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 縮減</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 終期の見直し</td> <td style="text-align: center;">見直し額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 休止</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 完了</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 整理統合</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価				<ul style="list-style-type: none"> ・23団体の事業を採択（H27） ・補助事業に18,191人の子どもが参加（H26） 		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	
前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価																									
<ul style="list-style-type: none"> ・23団体の事業を採択（H27） ・補助事業に18,191人の子どもが参加（H26） 		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																						
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																							
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																							

福井県文化顧問活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H13 年度	事業終了 予定年度	— 年度
		政策 []			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数				
関連する県の計画等		[]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他	16 年				
[事業目的]												
<p>福井県の文化振興・観光営業施策を計画的かつ継続的に展開するため、「福井県文化顧問」を設置し、本県の文化振興・観光営業施策全般に対して総合的な見地から指導、助言、協力を得る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 本県の文化施策・観光営業施策全般についての指導、助言 (2) 本県の文化振興・観光営業施策に関する各種普及・広報活動への協力</p> <p>【文化顧問】 山根一真 氏 ・略歴 1947年東京都生まれ 東京都杉並区在住、ノンフィクション作家、ジャーナリスト 斬新な手法で文明の謎を解く作品や独自の情報技術を解く著作で話題を集める。 1990年から3年間、NHK初の外部キャスターに迎えられ、「ミッドナイトジャーナル」で激動の世界を報じ続けた。 宇宙空港研究開発機構（JAXA）嘱託、日本文芸家協会会員、理化学研究所相談役、日本生態系協会理事、 愛・地球博総合プロデューサー（長久手愛知県館・瀬戸愛知県館） ・福井県との関わり 恐竜エキスポふくい2000応援団長、第20回国民文化祭ふくい2005総合プロデューサー 福井県文化顧問（平成13年度～）、福井しあわせ元気国体開・閉会式総合プロデューサー（平成27年度～）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	1,697	1,622	1,622	1,622	1,624	1,624	1,624					
2月現計予算額の推移	1,697	1,622	1,622	1,622								
決算額の推移	1,686	1,551	1,588									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	書籍等での発信回数 (目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	書籍等での発信1回/年				
	実績	2	2	0	1							
活動指標	県内における講演、懇談回数 (目標)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	県内での講演、懇談3回/年				
	実績	2	3	3								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,624				1,624	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	福井県文化顧問活用事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>県の文化振興・観光営業施策を計画的、継続的に展開するためには、文化顧問による総合的な見地からの指導、助言等が必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・朝倉氏遺跡、年縞等に関して指導、助言を受ける (H26) ・教科書「中学国語」に年縞について8ページにわたり執筆 (H27)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

フレンドリーアート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H15 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度	— 年度
		政策 []			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
すべての地域の県民が等しく文化施設の催事等に触れる機会を確保するため、特に嶺南地域において、嶺北地域の中核的文化施設への直行送迎バスを運行し、利便性の向上を図る。											
[事業内容]											
音楽堂での公演や美術館・博物館等での企画展の際に、嶺南から会場施設へバスによる送迎の実施											
(1) 対象公演等											
(ア) 県立音楽堂におけるオーケストラ、演奏家による公演 (平成28年度 5台運行)											
(イ) 県立美術館等における企画展 (平成28年度 7台運行)											
(うち1台は美術部などの子どもを対象に運行)											
(2) 対象地域 嶺南地域											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		2,948	790	813	2,675	1,355	1,355	1,355	嶺南の住民からの要望によりバスを増便 バスの拡充に伴い移動美術展はH27で廃止		
2月現計予算額の推移		2,948	790	813	2,675						
決算額の推移		1,829	790	805							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	送迎バス運行台数	(目標) (8)	(8)	(8)	(10)	(12)	(12)	(12)	運行台数12台/年		
		実績 8	8	8							
活動指標	送迎バス利用者数	(目標) (288)	(288)	(288)	(360)	(432)	(432)	(432)	バス定員45人×0.8×バス運行台数		
		実績 247	362	303							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	1,355				1,355	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	フレンドリーアート推進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
県立文化施設が嶺北地域に偏在しているため、嶺南地域の住民にも等しく文化施設の催事等に触れる機会を確保することが必要である。							
[受益者] 嶺南地域の住民				[想定される受益者数] 288人（26年度実績）			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	・市町の広報誌等で参加者募集の広報を実施				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・バスを8台運行、利用者303人（H26） ・移動美術展を開催、来場者2,325人（H27）		・フレンドリーアート号の申し込みの増加に伴いバスを増便 ・フレンドリーアート号の拡充に伴い、移動美術展は廃止		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,320
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
<p>県民一人ひとりの積極的な参加により、多様な文化の発表、活動、交流、観賞を行う「参加型」のフェスティバルを県内各地で開催し、多くの県民に身近にふくいの芸術文化に親しむ機会を提供する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 「ふれあいフェスティバル」の開催 「福井県総合美術展」および「福井県音楽コンクール」をメインフェスティバルとし、各分野において県域で活動する団体が行う発表、活動、交流等に要する事業費に対し補助 ①補助対象者 県域で活動する芸術文化活動団 ②補助対象となる分野 吹奏楽、オーケストラ、マ칭ングバンド・バトントワング、合唱、オペラ、邦楽、太鼓、大正琴、演劇、人形劇、洋舞、日本舞踊、能楽、民謡民舞、吟詠剣詩舞、茶道、華道、生活文化、美術、文芸、民俗芸能 ③補助率 1/2以内</p> <p>(2) ふくい県民総合文化祭統一デザインによる広報 統一デザインを使ったリーフレットなどを作成</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		12,198	12,198	12,164	12,164	12,158	12,158	12,158				
2月現計予算額の推移		11,537	12,198	12,164	11,393							
決算額の推移		11,355	11,526	11,155								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加人数（観客者数含む） (目標) 実績	30,382	30,715	28,742	(28,742)	(28,742)	(28,742)	(28,742)	H26同数以上			
活動指標	助成団体数 (目標) 実績	(23) 23	(25) 25	(25) 25	(23) 23	(23)	(23)	(23)	助成23団体/年			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、県内芸術文化活動団体				
予算額	12,158				12,158	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		1/2				

事業評価

事業名	ふくい県民総合文化祭開催事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>「第20回国民文化祭・ふくい2005」に参加した分野、世代、地域別の多くの方々から得た意見を踏まえ、子どもから大人まで広く県民が日常生活の中で優れた文化・芸術に親しみ・楽しみ・深く学ぶことのできる環境づくりを整備するためには、県内各地で「参加型」のフェスティバルを開催し、広く情報発信することが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
芸術文化活動団体および各種分野の発表会、体験教室に参加する県民				28,742人（26年度実績）			
他県の状況	<p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動支援事業（いしかわ県民文化振興基金文化活動団体への助成） <p>【富山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県芸術文化振興基金事業文化活動団体への助成 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業、芸術文化活動推進事業 （役割分担） <ul style="list-style-type: none"> ・芸術団体文化活動活性化事業（一社）福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助 ・芸術文化活動推進事業 県内の芸術団体の実施する次世代育成などに寄与する文化活動への補助 	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・23団体に助成（H27） ・ふれあいフェスティバルに28,742人参加（H26） 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくい文化の担い手育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県政]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			政策 [国体・大会の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
音楽堂や美術館、博物館などの文化施設を利用し、子どもの文化に触れる機会を増やすとともに、一流のアーティストの指導を受ける場を提供し、福井の文化の担い手を育成する。												
[事業内容]												
(1) 子どものための音楽鑑賞推進事業 ①出張音楽堂…中学校等に福井ゆかりの音楽家を派遣して行う室内楽コンサート ②ふれあい文化子どもスクール…全ての小学5年生を対象としたプロのオーケストラの鑑賞と美術館企画展等の一流芸術の鑑賞 ③ふるさと子どもコンサート…幼児・小学校低学年の生徒を対象とした、地域の演奏家等による親しみやすいコンサート (2) 若手アーティスト育成事業 ①ヤングアートキャンプ…中・高校生の文化部の生徒を対象として一流の芸術家が指導 ②ふくい天心美術塾…高校生を対象にプロの指導者が日本画を指導 (3) 博学連携「スクールミュージアム」 ①キッズミュージアム…美術館・博物館で子どもが創作したり、体験したりしながら学ぶ ②学校鑑賞会…子どもが授業の一環として、美術館、博物館での企画展を無料で鑑賞 (4) 未来の音楽人材育成事業 ①一流の講師による講習会の開催等を通して、音楽家を志す学生と指導者とのマッチング等を支援												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		57,390	45,739	43,334	47,685	52,503	52,503	52,503	出張音楽堂の開催回数増			
2月現計予算額の推移		53,890	45,739	36,532	47,685							
決算額の推移		51,210	42,135	35,883								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	出張音楽堂開催回数 (目標) 実績				(22)	(40)	(41)	(40)	29年度までに中学校86回(全中学校)、小学校17回(全市町)開催			
活動指標	一流の芸術・文化を体験する子どもの数 (目標) 実績	71,637	74,189	75,202	(77,000)	(77,000)	(77,000)	(77,000)				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	52,503				52,503	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	ふくい文化の担い手育成事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>文化芸術への志向は、子ども時代の経験によりかなりの部分が形づくられることから、子どもたちにできるだけ多くの「本物」に触れる機会を増やし、興味を持ってもらうことが必要である。</p> <p>また、興味を文化活動への参加や福井文化の担い手の育成につなげていくためには、一流のアーティストなどの高いレベルの技術や考え方に直に触れ、感性や技術力を磨くことにより子どもたちの文化活動の質の向上を図ることが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
幼児、小学生、中学生、高校生				75,202人（26年度実績）			
他県の状況	[石川県] ・子どもたちに対する芸術鑑賞機会の提供 （伝統芸能、オーケストラ、演劇等の鑑賞機会提供）等 [富山県] ・青少年美術展、こどもフェスティバル開催事業費補助金 ・こどもドリーム・アカデミー事業費補助金 （一流音楽家による小学校での出前コンサートなど）等	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どものための文化芸術促進事業 （実績） ・公立文化施設等で伝統芸能、室内楽、合唱等を鑑賞する「芸術鑑賞教室」 ・子どもの日頃の文化活動の成果を発表する「子ども文化祭」等				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	・出張音楽堂実施の際には、市町教育委員会が各学校と日程調整等の実務を担当 ・ふるさと子どもコンサートは、市町と共催で実施				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・75,000人の子どもが一流の芸術・文化を体験（H26） ・平成27年度から中学校で出張音楽堂を開始（H27～29の3年間で全ての中学校で開催予定）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠 ビジョン		元気な産業			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等	政策		[国体・大会の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	■ その他		2 年		
[事業目的]												
一乗谷朝倉氏遺跡全体のレベルアップを図るため、全国の中世都市遺跡研究拠点、遺跡観光のゲートウェイとなる博物館の整備や、朝倉氏庭園の再生などを推進する。												
[事業内容]												
(1) 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の整備（92,437千円） ・博物館の基本設計（建築および展示）委託 (2) 日本トップレベルの中世都市遺跡研究の拠点化に向けた調査研究（15,585千円） ・館内歴史資料の再整理、アーカイブ化、資料検索システム整備 ・各分野での研究の第一人者等を集めたプロジェクトチームの開催 (3) 特別名勝庭園の再生・観賞化（4,546千円） ・特別名勝庭園の三次元測量、地中探査 ・想定される建物（視点場）等の調査・研究をさらに推進 (4) 復原町並の活用（2,541千円） ・協議会が実施する戦国城下町の生活再現への負担金												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					22,955	115,109						
2月現計予算額の推移					22,955							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数	(目標)			(740,000)	(790,000)	(840,000)	(890,000)	H32までに100万人			
		実績	721,100	670,200	687,200							
活動指標	生活再現開催日数	(目標)			(14)	(23)	(23)	(23)	開催日数23日/年			
		実績			14							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会					
予算額	115,109			(諸)	19	115,090	事業実施方法	直営、負担金				
							補助率					

事業評価

事業名	日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>一乗谷朝倉氏遺跡は、全国唯一の中世の城下町遺構がそのまま残る大規模遺跡で、文化的価値の高い貴重な遺跡であるにもかかわらず、見学者にその貴重さなどの価値が伝わりにくく、歴史的空間としての魅力を体感することが難しい状況である。</p> <p>そのため、北陸新幹線福井延伸や東京オリンピック・パラリンピック開催の機を捉え、日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」のゲートウェイとなる一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）を整備し、本物の魅力や歴史的価値を国内外に発信し、観光客を呼び込む。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内外の観光客				687,200人（26年度実績）			
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 （役割分担） ・一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 遺跡内アクセス環境の向上や案内・サービスの充実を図る取り組みを実施			市町との連携状況	・福井市と連携し、博物館の用地交渉等を実施 ・県と福井市が朝倉氏遺跡活用推進協議会の委員となっており、戦国城下町の生活再現を協働して実施		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の整備に向けて基本計画を策定（H27） ・復原町並での戦国城下町の生活再現を14日間実施（H27）		・基本計画を基にして博物館の建築および展示の基本設計を実施 ・博物館を中世都市遺跡の研究拠点とするため調査研究を実施 ・戦国城下町の生活再現が好評のため、開催日数を23日間に拡充		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
北陸新幹線福井延伸や東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、日本で唯一戦国城下町の遺構が手つかずのまま残る「特別遺跡一乗谷朝倉氏遺跡」を積極的に活用し、国内外への発信の強化、案内サービスの一層の充実を図ることで、遺跡への誘客を促進する。												
[事業内容]												
<p>(1) 山城を含めた遺跡内アクセス環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城登山道アクセス環境の整備 ・遺跡内無料周遊バス「朝倉ゆめまる号」の運行 <p>(2) 案内・サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者のスマートフォンやタブレット端末などを使った案内 ・遺跡内各所でのガイドの設置や食・土産物の提供 ・遺跡内案内ボランティアなどによる案内サービスの充実 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,200	7,032	7,000	5,542	4,459	4,459	4,459				
2月現計予算額の推移		1,200	7,032	7,000	5,542							
決算額の推移		1,200	7,032	7,000								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数 (目標)				(740,000)	(790,000)	(840,000)	(890,000)	H32までに100万人			
	実績	721,100	670,200	687,200								
活動指標	案内ボランティア活動人数 (目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	案内ボランティア登録20人			
	実績	30	30	20	20							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				
予算額	4,459				4,459	事業実施方法		負担金				
						補助率						

事業評価

事業名	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡は、27年3月策定の「観光新戦略」において「恐竜」とともに「強みを極め、他の追随を許さない誰もが認める観光地を創ると位置付けており、本物の魅力や歴史的価値の発信を通じてより多くの観光客を呼び込むとともに顧客満足度をより高める必要がある。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>県内外の観光客</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>687,200人（26年度実績）</p>			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 （役割分担） ・博物館の整備や中世都市遺跡研究の拠点化に向けた調査研究の実施により、遺跡全体のレベルアップを促進		市町との連携状況	・県と福井市が朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成委員となっており、協働して実施			
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・20人のボランティア登録を維持し、休日に2～3人の遺跡案内ボランティアを配置（H26） ・一乗谷朝倉氏遺跡の来訪者687,200人（H26）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくいの歴史文化発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県政]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H25 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [国体・大会の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		4 年		
[事業目的]												
県内外の観光客が、福井の歴史・文化・民俗に触れる旅をより一層楽しむことができるよう、県内の有形・無形の文化財の情報集約・発信を進めるとともに、本県の歴史文化を掘り下げ、体験することができる特別公開を推進する。												
[事業内容]												
(1) 文化財特別公開の推進												
① 「みほとけの里 若狭の秘仏」特別公開の実施 実施時期 9月～11月												
② 文化財めぐりを楽しむための仕掛けづくり												
・ ストーリーを重視したモデルコースの設定（馬頭観音を巡るコース、日本遺産構成文化財を巡るコース、鯖街道沿いの仏像を巡るコースなど）												
・ 嶺南地域の歴史系文化施設や寺社をめぐる木簡パスポート事業の実施												
・ 寺院、歴史的建造物等の文化財を活用したナイトイベントの実施												
・ ウェブサイトを使った歴史文化情報の集約・発信												
(2) 日本遺産認定（第2弾）に向け、歴史の専門家や関係者から意見聴取												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			8,624	6,817	6,652	6,570	6,570	6,570				
2月現計予算額の推移			8,624	7,280	6,652							
決算額の推移			6,930	6,883								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	寺社等への周遊人数	(目標)			(15,000)	(16,500)	(18,150)	(19,965)	前年度から1割増			
		実績		10,023	15,710							
活動指標	特別公開文化財数	(目標)			(60)	(70)	(70)	(70)	文化財の特別公開70件/年			
		実績		35	68	77						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	6,570			(諸)	4	6,566	事業実施方法	直営				
							補助率					

事業評価

事業名	ふくいの歴史文化発信事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>若狭地域に数多く存在する文化財を活用し、観光誘客を図るため、各寺院に依頼し通常は公開しない仏像などの文化財の特別公開を実施することが必要である。特に秘仏公開については、旅行商品としても扱われていることから、観光誘客のための重要な観光素材となっている。</p> <p>また、日本遺産の第2弾の認定に向けて、多数の自治体が申請することが予想されるため、さらにストーリーを磨き上げるため専門家からのアドバイスが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
寺社等を周遊する観光客				15,710人（27年度実績）			
他県の状況	日本遺産 第1弾認定件数 18件（申請件数 83件） 第2弾認定予定件数 15件	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 日本遺産活用推進事業 （役割分担） ・若狭歴史博物館での展示等を通して、日本遺産に認定された若狭地域の歴史、伝統、食文化を県内外に発信	市町との連携状況	・秘仏と巡るバスツアーの広報を小浜市、高浜町と協働して実施				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・33寺院の77件の文化財を公開（H27） ・木簡パスポート等により、15,710人が寺社等を周遊（H27）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

日本遺産活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県政]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策 [国体・大会の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]			<input type="checkbox"/> 県単		□ 補助金				
		[]			<input type="checkbox"/> その他		□ その他				
[事業目的]											
「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」の日本遺産認定を契機に、若狭地域の歴史、伝統、食文化を国内外に発信するとともに、日本遺産をテーマとした広域観光誘客を推進する。											
[事業内容]											
(1) 日本遺産の発信拠点としての県立若狭歴史博物館の活用促進						文化振興課					
<ul style="list-style-type: none"> ①日本遺産ガイダンス機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産記念展に続くテーマ展の開催 ・学芸員によるヒストリアガイダンス、歴史スポット周遊コース提案の実施 											
(2) 日本遺産を活用した交流事業						再掲：観光振興課					
<ul style="list-style-type: none"> ①ふるさと交流による嶺南・嶺北一体化事業 ②福井ならではのバスツアー催行事業 											
(単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					3,376	1,161	1,161	1,161			
2月現計予算額の推移					3,376						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	若狭歴史博物館入館者数	(目標)			(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	日本遺産関連展示会の入館者3,000人/年		
		実績			2,514						
活動指標	日本遺産展示会の開催回数	(目標)			(1)	(3)	(3)	(3)	テーマ展開催3回/年		
		実績			1						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	1,161				1,161	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	日本遺産活用推進事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」の日本遺産認定を観光に活用していくため、若狭歴史博物館を拠点に継続的に情報を発信していくことが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	日本遺産 第1弾認定件数 18件（申請件数 83件） 第2弾認定予定件数 15件	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいの歴史文化発信事業 （役割分担） ・新たな日本遺産の認定に向けて、さらにストーリーを磨き上げるため 専門家から意見を聴取	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・日本遺産記念展展を実施し、入館者2,514人（H27）		・継続的に若狭歴史博物館で情報を発信するためテーマ展を3回開催		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 33 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		[]										
[事業目的]												
調査研究の成果をもとに県内の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。												
[事業内容]												
(1) 企画展開催事業 <ul style="list-style-type: none"> ① 「ふくい婚禮」(仮称) 期間：7月23日～8月31日 40日間 婚姻婚礼の行われる「場」と嫁入り道具を中心に、歴史的な変遷を紹介 ② 「城下町・福井の町と人」(仮称) 期間：10月21日～11月23日 33日間 柴田勝家による北庄城下町建設以来、越前の政治・経済の拠点として繁栄した都市の歴史を紹介 ③ テーマ展・フレキシブル展示 テーマ展「写真が語る 思い出の福井駅前(仮)」、常設展示の定期的な入れ替えを実施 (2) 企画展準備事業 平成29年度以降の企画展開催のための調査・資料借用交渉を実施												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		20,989	28,774	20,360	17,015	21,198	21,198	21,198				
2月現計予算額の推移		18,956	21,272	20,360	16,103							
決算額の推移		17,849	20,342	18,445								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展来場者数	(目標)			(10,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	ふくい婚禮 8,000人 城下町・福井の町と人 8,000人			
		実績	11,357	11,558	8,593	7,639						
活動指標	企画展開催回数	(目標)			(2)	(3)	(3)	(3)	企画展2回とテーマ展1回を開催			
		実績	2	3	3	2						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	21,198			(使) (諸) 8,033	13,165	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	歴史博物館企画展開催事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実																				
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県内外からの来館者に歴史・民俗・文化を県内外に広く紹介するために、日頃は見ることのできない貴重な資料に触れる機会を積極的に提供することが必要である。</p>																											
<p>[受益者]</p> <p>県内外からの来館者</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>13,163人（26年度実績）</p>																							
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)																								
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歴史博物館資料収集事業 (役割分担) ・資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開		市町との連携状況																								
<p>[事業の評価]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">前年度の実績</th> <th style="width: 30%;">実績を踏まえた28年度の変更点</th> <th colspan="4">事業評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> ・企画展「再会・ふくいゆかりの名宝たち 里帰り文化財展」 入館者4,080人（H27） </td> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 拡充</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 縮減</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 終期の見直し</td> <td style="text-align: center;">見直し額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 休止</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 完了</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 整理統合</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価				・企画展「再会・ふくいゆかりの名宝たち 里帰り文化財展」 入館者4,080人（H27）		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	
前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価																									
・企画展「再会・ふくいゆかりの名宝たち 里帰り文化財展」 入館者4,080人（H27）		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																						
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																							
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																							

若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 35 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
調査研究の成果をもとに若狭地方の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。												
[事業内容]												
(1) 企画展開催事業 ①特別展「若狭の歴史を語る若狭文化遺産」(仮称) 10月29日～11月27日 30日間 嶺南地域の主に指定文化財を紹介し、それらが伝える嶺南地域の特色を解説 (2) 若狭のみほとけフレキシブル 仏像公開に特化した展示室において、継続して定期的に仏像の展示替えを実施												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		10,912	0	0	26,618	13,348	13,348	13,348	平成25、26年度はリニューアルのため実施せず フレキシブル展示を実施(H27～)			
2月現計予算額の推移		9,957	0	0	22,222							
決算額の推移		9,689	0	0								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展来場者数 (目標)				(6,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	若狭の歴史を語る若狭文化遺産(仮称) 3000人			
	実績	4,132	0	0	4,906							
活動指標	フレキシブル展示借用文化財件数 (目標)				(9)	(9)	(9)	(9)	仏像の展示替え9件/年			
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	13,348			(使) (諸) 1,542	11,806	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	若狭歴史博物館企画展開催事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県内外からの来館者や若狭地方の住民に若狭地方の歴史・民俗・文化を県内外に広く紹介するために、日頃は見ることのできない貴重な資料の鑑賞機会を積極的に提供することが必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内外からの来館者				4,132人（24年度実績）				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 日本遺産活用推進事業 （役割分担） ・若狭歴史博物館での展示等を通して、日本遺産に認定された若狭地域の歴史、伝統、食文化を国内外に発信			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・企画展「若狭人の祈り-経-」入館者2409人（H27） ・企画展「若狭武田氏の誇り」入館者3173人（H27）					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

朝倉氏遺跡資料館レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H25 年度	事業終了予定年度	H32 年度
関連する県の計画等		政策	[]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
[事業目的]												
朝倉氏遺跡資料館の情報を広く紹介する「ガイドブック」の発行や、豊富な出土資料に関する情報の公開とその価値の積極的なアピールにより、朝倉氏遺跡資料館への誘客を促進する。												
[事業内容]												
(1) 案内・サービスの充実 資料館に「展示解説ボランティア」を配置 土・日・祝日、ゴールデンウィークやお盆の期間（年間120日/人）												
(2) 資料館の魅力を広くアピール・誘客促進のためのガイドブックの発行 資料館が開催する企画展や逸品展、体験講座などの情報を県内外に広くアピールするガイドブックの発行（年2回 各1万部発行し、県外の主要なサービスエリア、県内主要な宿泊施設や道の駅等に設置）												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			3,428	2,452	2,512	1,295	1,295	1,295	コンシェルジュを廃止（H28）			
2月現計予算額の推移			3,428	2,452	2,512							
決算額の推移			3,157	1,962								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数 (目標)				(740,000)	(790,000)	(840,000)	(890,000)	H32までに100万人			
		721,100	670,200	687,200								
活動指標	ボランティア研修開催数 (目標)			(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	ボランティア研修20回/年			
				29								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	1,295				1,295	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	朝倉氏遺跡資料館レベルアップ事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実
[事業の必要性・要求の背景]							
朝倉氏遺跡資料館の魅力を発信し、来場者の増加を図るために、ガイドブックの発行や案内・サービスの充実を図ることが必要である。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内外からの観光客				687,200人（26年度実績）			
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・ボランティア研修回数を29回開催（H26） ・遺跡案内を行うコンシェルジュを配置して案内を充実（H27）		・コンシェルジュは、活用推進協議会において行っている遺跡案内サービス（遺跡案内ボランティア等）で兼ねることとし廃止		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,217
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

朝倉氏遺跡資料館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S61 年度 経過年数 31 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
一乗谷朝倉氏遺跡の調査研究成果をもとに朝倉氏に関する歴史資料などを公開展示することで、県内外からの来館者の一乗谷朝倉氏遺跡への関心を高める。												
[事業内容]												
(1) 特別公開展（年4回開催） ①「一乗谷～よみがえる戦国城下町の風景～（仮題）」 4月～ 6月 ②「重要文化財は語る 一乗谷・武家のくらし（仮題）」 7月～ 9月 ③「朝倉将棋（仮題）」 11月～12月 ④「越前焼と朝倉氏（仮題）」 12月～ 3月 (2) 公開講座、遺跡見学会等 体験および公開講座5回開催 展示説明会4回開催 遺跡見学会開催（5月） 山城見学会（10月）												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		4,873	9,751	11,942	15,304	2,188	2,188	2,188	博物館整備の準備期間のため企画展を休止(H28～)			
2月現計予算額の推移		4,608	8,940	11,328	14,308							
決算額の推移		4,517	7,922	11,140								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特別公開展観覧者数 (目標) 実績			18,425	(17,621)	(21,821)	(24,000)	(26,400)	(過去の特別公開展の1日の平均観覧者数) × 開催日数 × 110%			
活動指標	特別公開展における未公開資料の公開件数 (目標) 実績		(500) 585	(500) 558	(500)	(500)	(500)	(500)				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	2,188				2,188	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	朝倉氏遺跡資料館企画展開催事業		部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
[事業の必要性・要求の背景]									
<p>国の重要文化財2,343点をはじめとする多くの出土品を公開する機会を増大し、魅力ある博物館展示を行うため、出土品の特別公開を継続的に行うことが必要である。</p>									
[受益者]				[想定される受益者数]					
県内外からの来館者				18,425人（26年度実績）					
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況					
[事業の評価]									
前年度の実績			実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・年間558点の新出資料を展示（H26） ・特別公開展4回開催、入館者18,425人（H26）			・H32開館予定の新博物館の整備準備のため、企画展を当面休止			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
						<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 13,116
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S52 年度 経過年数 40 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
国内外の優れた美術品や県内の美術作品を公開・紹介することで、県民が一流の名品を鑑賞する機会を拡大する。												
[事業内容]												
(1) 企画展開催事業 <ul style="list-style-type: none"> ① 「岩佐又兵衛展」(仮称) 期間：7月22日～8月28日 34日間 福井に移住して400年目を記念して、福井を代表する絵師である岩佐又兵衛の代表作を展示 ② 「フランス・ランス美術館名品展」(仮称) 期間：11月4日～12月25日 49日間 フランス北部のランス美術館のコレクションから、ダヴィッド、ピサロ、ドラクロワをはじめとした最良の作品を展示 (2) 企画展準備事業 平成29年度以降の企画展開催のための調査・資料借用交渉を実施												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		43,665	79,780	63,858	115,628	52,858	52,858	52,858				
2月現計予算額の推移		42,104	77,586	54,189	106,986							
決算額の推移		40,053	73,102	49,203								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展来場者数	(目標)			(130,000)	(54,500)	(54,500)	(54,500)	岩佐又兵衛展 10,000人 フランス・ランス美術館名品展 44,500人			
		実績	77,499	119,395	50,266							
活動指標	企画展開催件数	(目標)			(4)	(2)	(2)	(2)	企画展2回を開催			
		実績	3	3	3	4						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	52,858			(使) (諸) 37,161	15,697	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	県立美術館企画展開催事業	部局名	観光営業部	課名	文化振興課	課長名	阪口浩実	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県民に優れた美術品に身近に接する機会を提供し、美術館利用者の多様な関心やニーズに応えるために、様々なテーマについての企画展を開催することが必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内外からの来館者				50,266人（26年度実績）				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 美術館資料収集事業 (役割分担) ・資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・企画展「ゴッガン展」入館者 8,668人 (H27) ・企画展「エジプト美術展」入館者 62,332人 (H27) ・企画展「大永平寺展」入館者 14,444人 (H27)					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	